

# 新制度実施1年 窓口をワンストップに



## 交付金の特色

この交付金制度が新設されたきっかけは防

町では、平成20年度に、これまでの補助金を見直し、集落対象の統合可能な町の補助金制度（集落遊園地整備、街路灯設置・管理、敬老行事他5事業）を一本化するともに、事務手続きを簡素化し、自治会がより活動しやすいように改めました。

- ① 事業開始前の全額交付
  - ② 事業の精算（過不足）は翌年度の交付金で調整
  - ③ 事務手続きは年2回（要望、申告と報告）
- この制度を1年間実施してみている感想と議会に対するご意見を、狩川地区行政区長会会長の土門五郎さんに伺いました。

## 庄内町住みやすい

### 地域づくり活動交付金

犯灯・街路灯の補助金に対する一町二制度の調整と思われるが、統一されて経理の面でも改善され、申請・報告が容易になったとのことでした。

しかし、細部の問い合わせは、以前の各担当課に何う複雑さは変わらず、説明を含めて全ての対応を同一課でできるワンストップ化を急いでほしいとのことでした。

また、最近議会のネット配信を見て思うことは、老人クラブの活性化について、事務局が町当局から独立している社会福祉協だからなのか、町としての積極的な対策や資金提供がされていないように思われる。

議会としても、もっと関心をもつべきだとの貴重なご意見をいただきました。

今後の参考とさせていただきます。

▼ 民主党政権が誕生した。小泉内閣での構造改革で規制緩和が進められ、格差が一段と広がり、社会の中に閉塞感が漂って「とにかく変わってほしい」という気持ちが増えつつある。町ではなかったか。

▼ さて、政権交代は社会のあらゆる局面を変えつつある。温室効果ガスの25%削減、農業の戸別保障の具体化、子ども手当や高速道路、

▼ 無料化、ガソリンなどの暫定税率廃止や公共事業の見直しなど、一連の政策構造の大きな変化が伴う。

▼ 差し迫ったところでは、補正予算の執行停止がある。町での地域活性化、臨時交付金3億7千万円がかかわる補正予算の執行に不安は残るが、今後の財政運営では今までは違った対応が迫られると思われる。

▼ 無論、痛みや矛盾を伴うものとなるが、ばらまきや人気取りに終わらず、政策の意味を根気よく説明し、財源を確保しながら、生活や地域が潤うことを実感させることが肝要ではないか。

▼ 町では、原田町政2期目がスタートし、計画されている事業は目白押しである。政権交代の影響や合併支援に

も限りがあるなかで、一層の選択と集中が望まれる。

（佐藤 彰）

**発行人** 議長 梅木 隆

**議会広報調査特別委員会**

委員長	小野 一晴
委員	石川 武利
委員	石川 保
委員	佐藤 彰
委員	工藤 範子
委員	石川 恵美子

# こんにちは 庄内町議会

No.20  
9月議会号  
21.10.20



## 「さつまいも掘り」 狩川保育園

● 子育て応援特別手当支給	〈議案〉	2
● 決算審査特別委員会	〈委員会報告〉	6
● ここが聞きたい13人の熱弁	〈一般質問〉	10
● 議会報告会初開催	〈お知らせ〉	17

臨時会

8月10日

55 事業

# 国の臨時交付金活用し

## 5億1,100万円の事業費見込む



少しでも軽減されると助かります。(和光町町営住宅) 去年の8月15日、水位が25cmも上がりました。

8月10日に臨時会を開催し、一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ4億7千112万9千円を追加し、総額で106億6千706万5千円となりました。

(賛成16 反対3)

提案理由として町長は「国の緊急雇用・経済対策に呼応したもので、55事業、事業総額で5億1千100万円を見込んだ。議会からの提案や、住民要望に対応するため、緊急度・要望の高い順に精査し、絞り込みを行った」と、説明しました。

### 補正予算 4億7千113万円の増

補正予算

幼稚園バス購入 4千200万円  
 市街地排水対策事業 2千966万円  
 太陽光発電システム 2千748万円  
 6千640万円

議員からは「集落表示板の内容を詳しく聞きたい」「市街地排水対策工事の内容は」などの質問がだされ、当局は「現在の表示板の更新を優先し、他から来た人にわかりやすく訪ねやすい表示にした」「市街地の排水対策では調整池が有効だが、多額の費用がかかる」と試算している。

今回は茶屋町地内など余目地区市街地7カ所に常設ポンプを設置して、水位が上がりそうになると事前にポンプで水をくみ上げるもので、浸水の軽減を図る対策工事としたい」と答弁しました。

# 9月 定例会

平成21年9月定例会は、9月1日から14日までの14日間の会期で開催されました。平成20年度の決算を認定したほか、21年度の各会計補正予算、条例などを可決しました。

一般質問では、議員13人が町政全般について、町当局の考えをたどりました。



使い途が広がって、来年も交付されるの？(農地・水)

一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ1億1千533万8千円を追加し、総額で107億8千240万3千円となりました。

補正予算

(賛成 16 反対 2) 歳出では、国の経済危機対策として、3歳児から5歳児までを対象に1人あたり3万6千円を支給する子育て支援特別手当として、1千962万円(21年度限り、対象児童545人、対象世帯499戸、申請予定12月11日以降)を見込んだほか、農地・水・環境保全向上対策事業負担金として、2千135万9千円を追加しました。(町の負担は1/4)

## 子育て応援特別手当 1人あたり3万6千円支給

## 農地・水・環境保全向上対策 支給単価を倍に

10月16日の時点では政権交代により、不確定になっています。

意向調査の結果、78組織中49の組織から希望が出されていますが、10人あたり10万円の単価が2千200円から4千400円(共同活動部分)と倍になります。歳入では、20年度からの繰越金の確定により、財政調整基金からの繰入金金を9千700万円減額しました。

### 契約

防災行政無線施設整備工事(余目地域)  
 金額 1億1千340万円  
 相手方 山形パナソニック(株)  
 工期 22年3月25日  
 スクールバス更新  
 中型バス(余目中用)  
 金額 1千304万円  
 相手方 安藤整備工業(株)

情報公開・個人情報保護審査会委員  
 情報公開・個人情報保護審査会委員を次の方々に委嘱することに同意しました。  
 鶴巻廣彌氏(馬場)  
 齋藤 守氏(小出新田)  
 工藤みつ子氏(狩川緑町)  
 小野寺姫氏(館)  
 吉田勝紀氏(梵天町)

### 人事

### 人事

副町長、教育委員、監査委員の選任と任命に同意しました。任期は4年間です。活躍を期待します。

副町長



奥山賢一氏(駅前)

監査委員



齋藤昌史氏(今岡)

教育委員



村上純子氏(和光町)

教育委員



今野悦次氏(馬場)

### ご苦労さまでした

長年にわたり、町の非常勤特別職としてご活躍いただいた方々が交代されました。

菅原堅一代表監査委員(返吉)は、旧余目町時代を含めると通算14年2カ月。小野千代志教育委員(猿田)は教育長を10年間、委員長を2年間など、通算で14年10カ月。齋藤幸一教育委員(小出新田)は、2年間委員長職務代理を務めるなど、通算では7年10カ月でした。

本当にご苦労さまでした。

手当は助かるね!

言葉の解説

子育て応援特別手当 平成15年4月2日から、18年4月1日までの間に生まれた全ての幼児が対象となります。

財政調整基金

経済の不況等により、財源が不足した場合に調整する基金。21年3月末時点の基金額は3億836万5千円です。

20年度一般会計決算は105億6,627万円

特別会計を含む総額は168億6,492万円

# 依存財源 交付税・国庫支出金増で黒字

## 自主財源 滞納の徴収が今後の課題!

20年度一般会計決算は、地方交付税が前年比1億2,400万円増の46億9,150万円（前年比28%増）となり、国庫支出金については、7億1,300万円増の13億3,548万円（114.6%増）となりました。しかし、一方では、町税の滞納額が前年比4,620万円増の3億8,630万円となり、不能欠損額（徴



元気で長寿日本一



子育て応援日本一

滞納額 3億8千630万円  
徴収断念 935万円

収断念額）は約1千万円となりました。本町財源の67%を占める依存財源も、合併特例の期限を迎える平成27年度からは減少してゆく見通しで、今後の対策としては、少ない自主財源をムダなく徴収していくことが重要であり、大きな課題です。

投資及び出資金貸付金 6,651万円 0.7%  
維持補修費 1億8,569万円 1.8%  
積立金 4億7,939万円 4.7%  
補助費 10億2,130万円 9.9%  
広域行政組合等への負担金等です。（前年比 4.4%増）  
物件費 12億8,402万円 12.5%  
町施設の電気料、燃料、郵便料、スクールバス・町営バス経費、電算委託料、パソコン・備品・パート職員の賃金・消耗品等です。（前年比 2.5%増）  
繰出金 13億8,570万円 13.5%  
国民健康保険、介護保険等の特別会計への繰入れ金です。（前年比 9.2%増）

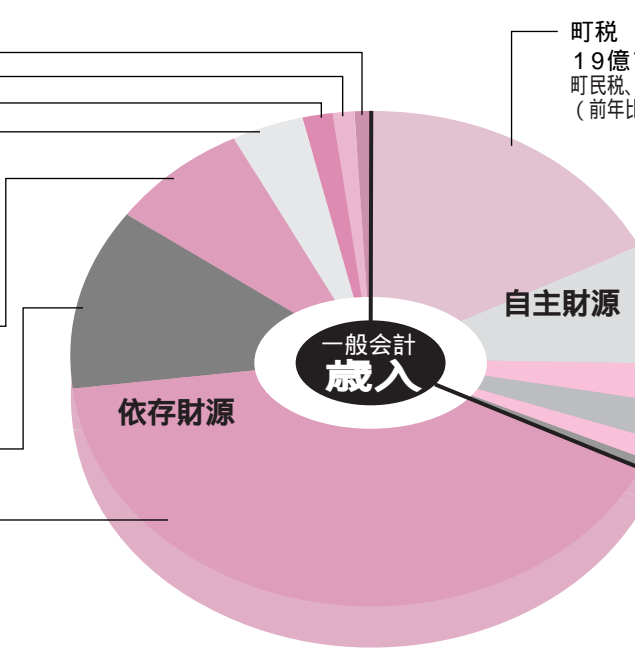
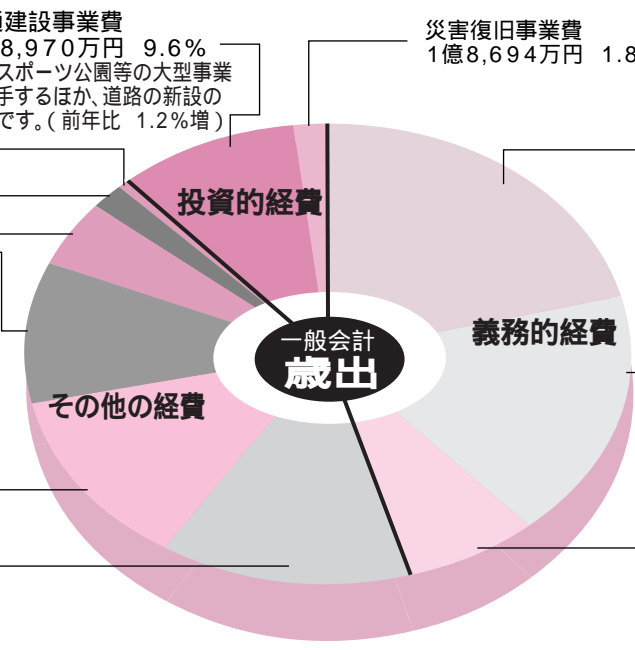
普通建設事業費 9億8,970万円 9.6%  
八幡スポーツ公園等の大型事業に着手するほか、道路の新設の費用です。（前年比 1.2%増）

災害復旧事業費 1億8,694万円 1.8%

人件費 21億5,763万円 21%  
議員、正職員・各種委員の賞給与です。（前年比 1.6%減）  
扶助費 7億3,436万円 7.1%  
すくすく保育園の委託料等です。（前年比 4.5%増）  
公債費 17億9,424万円 17.4%  
借入金の元利償還金です。（前年比 8.6%増）

その他 1億96万円 0.9%  
地方譲与税 1億3,084万円 1.2%  
地方消費税交付金 1億8,480万円 1.6%  
県支出金 4億3,771万円 3.9%  
町債 8億5,295万円 7.6%  
銀行や農協からの借入金です。（前年比 35.4%減）  
国庫支出金 13億3,548万円 11.8%  
地方交付税 46億9,150万円 40.8%  
町の収入から経費を差し引いて足りない分に対する国からの補填で、国からの仕送りに相当します。（前年比 2.8%増）

町税 19億7,356万円 17.2%  
町民税、固定資産税、たばこ税等です。（前年比 0.3%減）  
繰入金 8億8,853万円 7.9%  
財政調整基金などの取りくずして、貯金を下ろして使うことです。（前年比 722.5%増）  
繰越金 2億8,268万円 2.5%  
諸収入 2億7,637万円 2.4%  
幼保・小中学校の給食費、カート場収入、健診費用等です。（前年比 4.2%減）  
使用料 1億5,510万円 1.4%  
町営住宅、幼・保育園等の使用料です。（前年比 0.4%増）  
その他 7,068万円 0.6%



解説 決算額105億6,627万円との差は公債費から繰上償還分2億8,080万円を除いたためです

合計 102億8,547万円

こんにちは庄内町議会で

平成21年10月20日号 第20号 (町債から繰上償還に係る借換債2億8,080万円を除く)

(4)

# 決算審査特別委員会

決算審査特別委員会  
委員長 池田 勝彦



平成20年度の一般会計決算と10の特別会計決算を審議する決算審査特別委員会は、委員長に池田勝彦、副委員長に小松貞逞の両委員を選任し、3日間の日程で開かれました。15名の真剣な質疑が行われ、原案どおり認定致しました。

**町長** 町有財産の再調査を行ったところ、新たに発見したもので記載もれであり、今後、このようなことのないように対応する。

くし、状況が改善されるよう調査についても努力したい。  
大滝 力議員

**町長** 総合計画の見直しの時期を迎えているので、それと一緒に進めたい。

**町長** 滞納者の実態を十分把握して、不納欠損処分取扱規程等を定めて、適正な処理を実行できるように努めていきたい。

小林 清悟議員  
長期財政計画を立てよ

**町長** 合併して5年目に入り、社会情勢の変化や税制改正などから、合併時に作成した財政計画に計画のずれが生じている。長期財政計画を作成してはいかかが。

**町長** 現在も、関係集落の皆さんとの連絡調整会議を実施しているが、町の環境基本条例、県条例をふまえ、県との連携を強くすることが多い。

**町長** 寄附金の内、それぞれ10万円ずつを施設整備、図書整備、河川環境整備基金に繰り入れている。8名の会員より寄附があった。

**問** 合併して5年目に入り、社会情勢の変化や税制改正などから、合併時に作成した財政計画に計画のずれが生じている。長期財政計画を作成してはいかかが。

**町長** 財産に関する調査に、錯誤を理由に8つの財産が追加されている。どういった内容か。

**町長** 現在も、関係集落の皆さんとの連絡調整会議を実施しているが、町の環境基本条例、県条例をふまえ、県との連携を強くすることが多い。

**町長** 滞納者の実態を十分把握して、不納欠損処分取扱規程等を定めて、適正な処理を実行できるように努めていきたい。

石川 保議員  
ふるさと納税、職員にも奨励せよ

上野 幸美議員  
生ゴミ収集 拡大せよ

村上 順一議員  
教育旅行 受け入れ拡大を

村上 順一議員  
税負担の 公平性を保て

**問** 20年度から実施したふるさと応援寄附金は、件数で20件、金額で114万5千617円となったが、この内、町外在住の職員からの寄附1件が含まれているようである。

**問** 「エコの町」を掲げながら、生ゴミの堆肥化への普及は、今だ一町二制度のまま。町を挙げて循環型農業への取り組みをすべきではないか。

**町長** プロジェクトチームをつくり、受け入れ家庭拡大など、検討したい。

**問** 不納欠損処理には、正当な事由が必要だが、反面先送りするものではない。内部規程を定めて税負担の公平性が損なわれることのないよう、適正な処理を行うべきと考える。

**町長** 20年度は直接職員にお願いした経過もある。財政不足を補う効果的な施策と理解しており、制度の主旨を理解してもらい、町外在住職員には、積極的に応援してもらおうと呼びかけたい。

**町長** あと、100㌧くらの処理能力があり、生ゴミ収集拡大を進めたい。

**町長** 滞納者の実態を十分把握して、不納欠損処分取扱規程等を定めて、適正な処理を実行できるように努めていきたい。

**町長** 指定管理者制度への移行を考慮していきたい。

**町長** 20年度は直接職員にお願いした経過もある。財政不足を補う効果的な施策と理解しており、制度の主旨を理解してもらい、町外在住職員には、積極的に応援してもらおうと呼びかけたい。

**町長** あと、100㌧くらの処理能力があり、生ゴミ収集拡大を進めたい。

**町長** 滞納者の実態を十分把握して、不納欠損処分取扱規程等を定めて、適正な処理を実行できるように努めていきたい。

**町長** 指定管理者制度への移行を考慮していきたい。



ゴルフ日和です（庄内ゴルフ倶楽部）

日下部 忠明議員  
都市計画税 使途を明確に

ゴルフ場利用税 使い方は

**問** 都市計画税収入として7千239万円がある。目的税であるので、特定財源として明示し、使途状況をしっかりと詳しく報告する義務がある。

**問** ゴルフ場利用税として852万円の収入がある。一回当り600円を利用者が支払う県税であり、その7割がゴルフ場周辺への配慮から、所有する町村に交付されている。使途は。

**町長** 来年度よりどのように充当されているか提示したい。

**町長** 土砂流出防止等、災害防止等に対応。



ハイヒールは無理かな？（親水広場）

**町長** 指定管理者制度への移行を考慮していきたい。

**町長** 現地確認を行い、検討したい。

石川 武利議員  
親水広場遊歩道 凸凹をなくせ

**問** 淡水魚養殖事業、特にその販売ルートを拡大するために、小売店、飲食業の方々などをお呼びしての試食会を行ってはどうか。

**問** 親水広場の遊歩道の敷コンクリート柱が凸凹になっており、歩行に支障をきたしている。この際、遊歩道を歩きやすい歩道にしてはどうか。

**町長** 町内の飲食業者などで活用していただけるよう、働きかけたい。



うん、そう、そう。これでいいんだよな。（大阪市追手前高校）

# 税金は正しく使われたか

# 決算審査特別委員会

斎藤 健一 議員

**軽自動車税徴収に**  
一層の努力を

**問** 軽自動車税の未済額が前年度より12%増の537万2千800円となっている。徴収には一層の努力を。

**町長** 軽乗用車が主で、2年ごとの車検の度納入する人もいる。町民税などと分離して徴収するなど、今後も努力したい。

狂犬病予防注射  
必ず実施を

**問** 狂犬病の予防注射の接種率が85.8%で未接種頭数が117頭もいる。狂犬病予防法で義務化され、違反した場合罰金が課せられる。

**町長** 未接種には再三通知している。今後も努力していきたい。



うちの愛犬は大丈夫

奥山 篤弘 議員

町民主役を忘れるな

**問** 町民満足度アンケートの報告書の中で職員の挨拶が指摘されている。「町民が入っていった時、挨拶がないのにはあきれれる。おはようございます。こんにちはとか声を掛けられないのでしょうか。役場に行くのが嫌だと思つています」と記載されています。「町民にこんな気持ちを抱かせることは本末転倒で許されないことである。今後の対応策は。」

**町長** 職員の接遇研修などを行なっているが徹底していない面もある。今後一層対応に励んでいきたい。

佐藤 彰 議員

新発見に期待したい



坂本龍馬との接点も？（清川八郎記念館）

**問** 町指定文化財補助金交付要綱の内容と、候補物件の指定規準は。また、所有者懇談会での話題と、調査中の清河八郎の資料の解読の状況を聞きたい。

**町長** 事業費が10万円以上で1/2の補助率。指定規準は特別に設定していないが、文化財保護審議会で時代背景や価値などを認めたもの。管理・修繕等に対する補助や防犯上の不安といった話が出された。205件、800点以上の資料について、専門家を介し解読している。

日下部 勇一 議員

町長交際費  
返還すべき

**問** 町長交際費から「さざれ石の会」へ、酒代3千円支出され、町長も出席している。どのような団体か。また、防災センターで総会を開いているが、条例では「団体が自主防災訓練を実施する際に使用できる」とある。目的外使用ではないのか。それに、当日公民館は塞がっており、やむを得ず無料の防災センターを利用したのか。

**町長** ボランティア団体とうかがっている。地域の要望があり貸している。公民館は空いていたが、日程変更も重なった結果。

工藤 範子 議員

**問** 旧日通跡地が有効利用されていない。朝市や駐車場など、町民に解放してはどうか。

**町長** 購入目的に沿って、今後、町民にいかに使いたい。ただけるか検討したい。

使用されない大白  
オブジェにせよ

**問** 平成18年以降使用されていない大白を、響ホルルの加茂線沿いに運び、オブジェにして、米の町米の里をPRしてはどうか。

**町長** 輸送経費も嵩むが、検討したい。



大きいのがあったよ（狩川保育園）



予約受け付けてます。

小野 一晴 議員  
新方式の利便性を  
拡充せよ

**問** 平成20年度に新設した「住みやすい地域づくり活動交付金」について、会計年度独立の原則から予算執行上問題はないのか。ないとするば障がい者の方などに、このシステムを拡充できないか。

**町長** 予算執行上の問題は無い。

齋藤 君夫 議員  
税負担の公平性を  
図れ

**問** 町税の不納欠損額、収入未済額が前年度より累増傾向にある。要因の多いなか、税負担の公平性から、納税者の理解を得て、収納率向上に努めるべきだ。

**町長** 考える。障がい者の方に拡充するには扶助費という性格上、困難と思われる。

町長 嘱託徴収員の配属や納税相談を重ね、徴収事務体制を強化して対応する。

実習館の利用拡大  
を図れ

**問** 条件の整う農林漁業体験実習館を子ども会事業、グリーンツーリズム推進の拡大を図る意味でも宿泊できる館にするべきでないか。

**町長** 原因がはつきりしない。引き続き調査し、有収率90%を目指す。

町長 内容を充分精査し、検討したい。

**問** 水道の配水量が年々減少し、配水管の入替工事を毎年行っているのに有収率が低下している。なぜか。

**町長** 原因がはつきりしない。引き続き調査し、有収率90%を目指す。

**問** 国保の高額療養費の件数が昨年比で増加している。4月より、75歳以上の方は後期高齢者医療保険に移行しているのになぜ増えたのか。

**町長** 透析などの患者が主ですが、所得階層の下の部分の方が増えたためと思われる。



ひっそりと埋もれています。大白

# 税金は正しく使われたか



温泉施設

実現はいつか

町長 任期中に実現したい



斎藤 君夫 議員

施設をいつ、どこに、どのように実現し、要望に応えるのか。

町長 時期は、マニフェストに掲げているので任期中に実現したい。

梵天温泉事業の閉鎖により、身近な所に温泉施設がほしい町民の要望が高まっている。温泉施設については、有識者によるプロジェクトチームの立ち上げ、さらに町観光協会専門部会で色々と議論を重ねてきたが、安易な整備はすべきでないとの報告があったなかで、総合的な見地で新たな必要性を探り、町の魅力にどうつなげていくかを提言している。町民が期待する温泉

場所は、一番効率の良い場所、あるいは、形態によってはどの場所が最適かも含め、総合的に色々な角度から調査をし判断をしていきたい。運営は、民間経営での実施を考えている。なお、形態は指定管理者制度



ぜひ足を運んでね（リニューアルされた北月山荘）

であったり、第三セクター的なものであったり、どのような形態で行うかは、今後検討していきたい。

高齢者免許証 自主返納を促せ

町長 優遇制度を検討したい



小林 清悟 議員

高齢者が関係した交通事故が全国的に増えている。そのため、高齢者の交通事故対策のひとつとして、運転免許証の自主返納が急増

している。しかし、本町では自主返納者がほとんどいない。その要因として、他の自治体で実施しているバスの回数券やタクシー券を贈るなどの優遇制度がないことが指摘されている。本町でも、免許証に代わる身分証明書の提供も含め優遇制度を実施して、高齢者の運転



進めよう自主返納（酒田警察署）

免許証の自主返納を促してはいいが、か。

町長 高齢者の外出支援という面においては、本町ではすでに、ゴールドパス、シルバーパスを発券し、高齢者に対する町営バスの優遇制度を実施している。

したがって、バスに乗る場所までの交通手段がないという方も大勢いるということから、自宅からバス停までの交通手段としてタクシーを利用していただき、タクシー券を配布するというような支援、優遇制度について今後検討していきたい。

医療費無料化

決断は早急に

町長 来年度から行動したい



工藤 範子 議員

医療費無料化を小学校6年卒業まで、できないかと、6月議会で

質問した。「町長の答弁は、将来的に財源をどうするか」であった。7月に行なわれた町長選挙の公約は「中学校卒業時まで医療費無料化を図ります」とあるが、財源の見通しできたのか。実施するとなるといつからか子育て応援日本一の

まちづくり宣言を唱えている町として、他市町村に遅れをとらないよう早めの決断が必要と思うがいかがか。

町長 基本的には中学校卒業までの無料化を考えている。事業実施においては、継続した形で、よりサービスを高められるようにしなければならぬと考えており、そのためにも、継続した財源の確保策や、所得制度を設定するか否かなどの条件を付しての事業の実施など、現在、調整を図っていることから、もう少し時間をいただきたい。

ただし、来年度から何らかのアクションを起こしたいと考えている。

男女共同参画 女性の一層の登用を

町長 環境を作っていく



このパワー町づくりに生かして！

体的な考えを伺いたい。

町長 町の各種審議会などへの女性の積極的な登用の今後の考え方は、例えば、会議の開催方法に工夫をしたり、女性が参加しやすいような環境を作っていくというようなことも方策として考えられる。

また、町が意識的に女性の皆さんに声をかけ誘導していく、あるいは3割という目標値に向かつて、今後、担当課やその立場・立場の方々から女性の参加について、常に念頭に置いて考えていただくということも検討していきたい。



上野 幸美 議員

男女共同参画社会行動計画「庄内町いきいきプラン」を策定し推進している。しかし、なかなか順調に進んで

いない現状にある。総合計画でも、審議会などへの女性の登用目標を、27年度まで3割と掲げているが、まだ低い数値となっている。仕事やさまざまなところでの女性の参加や女性の視点からの発信は大切なことと思う。女性の積極的な登用の推進を、どのように押し進めて行くのか、具



痛くしないでね。（予防接種）





巨大地震 有事に万全か

町長 周知を図りたい



石川 武利 議員

最近頻りに起きてくる地震や集中豪雨のいずれも、いつ起きるか予測がつかない災害である。14年前の阪神淡路大震災、5年前の新潟県中越大地震では、多くの犠牲者が出た。そこで、いつ発生してもおかしくない、庄内沖地震を想定し、万全の体制で備える」その対策について伺いた

町長 要援護者の支援プランは、9月中旬以降に新規登録者に加え台帳を整備し、各自治会と民生児童委

化策について。ウ、地図で住民に示す「地震防災マップ」について。

員に配布する予定となっている。自主防災組織の強化策は、リーダーの発掘と養成、そしてリーダーによる地域住民の意識改革が重要と考える。地震防災マップは、今後、掲示場所を増やすなど、住民の目に付きやすいように工夫をしながら周知を図りたい。

ア、要援護者救済策の今後の施策について。イ、自主防災組織の強



有事に怠りなく（松陽での防災訓練）

農産加工 独自支援制度を

町長 ハード面の支援を検討



村上 順一 議員

農業を中心に「新産業」の創出を庄内町版として創り出していくことが重要である。転作物や野菜等の規格外品、伝統野菜な

独自農産加工育成支援事業補助制度を創



食べてくれる人を思いながら（パームサンク）

町長 農産加工育成支援にかかるとらえている。しかし、農産加工に対する支援は、ソフト支援のみとなっており、県の「創意工夫プロジェクト支援事業」については、

農業者が取り組むには若干ハードルが高いと認識している。したがって、今後の国の政策の動向を見据えながら、農産加工に対するハード面の支援を検討していきたい。

設すべきでないか

消費生活 専用窓口での対応を

町長 今後の対応を考えたい



佐藤 彰 議員

「消費者庁」が発足した。食品の安全や架空請求、多重債務やヤミ金融、訴訟通知書郵送など消費生活相談が複雑



相談をして安心な生活を（酒田市）

町長 相談窓口がいかにか便利な場所にあつたとしても、なかなか自分一人では相談に行けないという人がいるということも含め、相談窓口へ足を運べるシステムの構築が必要と考える。

高度化しつつある。さらなる相談の増加が見込まれ、市の段階では、設置が義務化された専用の窓口を設けるなどの対応をすべきである。人権相談、困り事相談を「町民相談室」に改変し、専門の消費生活アドバイザーを配し、安心の町づくりを進めていくことが求められている。

町長 公約

必ず実行するのが しっかりと考え実現したい



石川 保 議員

医療費の無料化と温泉施設の整備は、町長選挙の争点になるなど

町民の関心が高い政策である。しかし、複数の議員から質問されても、明確な答弁がされていない。医療費無料化のため年間1億500万円の対応、温泉施設も町としての対応姿勢を明らかにする必要がある。2つの政策は町長自

町長 医療費無料化は、来年度から何らかのアクションを起こしたい。また、その対象や内容は、財源の確保など、今後相当精査する必要があるため、少し時間をいただきたい。

温泉施設は、民間の経営を基本とし、木質バイオチップなどの環境にやさしい、そういった手法をどのように取り入れて実現していくのか、そして、町民の皆さんから喜んでもらえる温泉施設に向け、しっかりと考えて実現をしたい。



お風呂(上)、医療費無料化(下)公約守ってね





学校支援  
地域本部

設置急げ

教育長 現在進行中である



富樫 透 議員

くり、学校づくり、地域づくりを進めるべきと考えるがどうか。

教育長

今年の4月から、余目第一小学校の読書活動において、地域のコーディネーターの方から協力をいただき、学校と地域

が連携、協力してこの事業を進めている。今後、この事業の効果を確認しながら進めていかなければならないと考えるが、地域の力を伸ばすという芽が存在する限り、学校が地域に立脚していく、あるいは教育上必要であるという観点で、予算措置についても今後検討していきたい。

文部科学省は、平成20年度より3カ年計画で全国すべての自治体に、学校支援地域本部を設置し、地域全体で学校教育を支援する体制を作るとしている。公民館の指定管理者制度をはじめ、総合的な学習、外国語教育など、子どもたちをとりまく環境は年々多様化している。



それからねエ...(第一小読み聞かせ)

医療費  
無料化 来年4月から実施を

町長 11月中にまとめたい



この元気を支えます。

成22年4月から実施すべきでないか。

町長

来年の4月から実施するという前提で、来年度の予算要求の時期である今年11月中には全体像をまとめたい。

ただし、内容は、今後の国の動向などを含め調整を図らなければならぬと考えている。

また、子育て世代の負担軽減をどのように図れるか、そして公平公正というものをどう理解していただけるか、町民との合意形成のため、すこし時間を貸していただきたい。



斎藤 健一 議員

先の町長選挙のマニフェストにある医療費の無料化を、現在の小学校入学前までを中学校卒業までとすること

について、町民の方々特に、子育てをされている方々からは、現在行っている完全無料化を中学校卒業まで実施されるものと受けとめられている。子育て応援日本一を宣言しており、財源調整をはかり完全無料化で実施すべきでないか。

また、実施時期も早期に実施すべきで、平

立川  
中学校 吹奏楽部の創設を

教育長 方策を検討したい



小松 貞逞 議員

立川小学校にはスクールバンドがあり、多くの児童が活動を行っ

ている。中学校でも継続したいと思っても、立川中学校に吹奏楽部が無いために、願いがかなわないでいる。児童に同じ教育環境を提供するために、また、全国的に誇れる響ホールを持ち、文化振興に力を入れている本町として、そのすそ野

教育長

立川小学校のスクールバンドで活躍し、中学校でも吹奏楽を続けてみたいという子どもたちや、地域の声が毎年寄せられている。しかし、現在の部・クラブ活動を残したままで新たに吹奏楽部を設立することは、現在のところ学校側としては難しい状況にある。

よって、少人数編成のアンサンブルや地域の社会教育団体への参加など、子どもたちの思いをかなえられるような方策を、今後も検討していきたい。

アレルギー  
ショック 子供の命を守れ

教育長 学校現場と協議していきたい



緊急治療キット

携帯を勧めたい患者はいるとのことであった。

普及の環境整備として公費助成が必要ではないか。

町長

EpiPenについては、本来、本人が持参すべきものなのか、学校が備えておくべきものなのかも含め議論を深めていきたい。

教育長

医師の指導、判断により仮にEpiPenを携帯するお子さんが増えたとしても、その管理、運用は充分注意を払わなければならないと思うし、今後、養護教諭部会なども含めて、学校現場と協議していきたい。



小野 一晴 議員

食物アレルギーの際に発症するショック症から発症者の命を守る治療キット「EpiPen」について、文部科

学省は昨年4月に「取り組みガイドライン」を発表した。これによると、児童生徒が校内で発症し緊急を要する場合は、教職員が注射しても医師法違反にはならないとした。

近隣の専門医院に聞くと、親の負担の軽減と学校の対応が可能であれば「EpiPen」の



めざせ、ミュージシャン(余目中学校)







選挙公約

実現の手順はどうする

町長 4年間で実現 財政計画と調整



日下部 勇一 議員

町長選挙で公約した政策は町民との契約である。行政手続上の進め方について伺いたい。弱者と町民の暮らしを守ることに、要望の多い事業を優先して進めるのか。

来年度は総合計画の見直しの年、振興審議会に回る事業。

年度別の事業計画。各課との話し合いをどう考えているのか。財政計画どう組み立てるのか。

公約は4年間で実現

町長

色々な考え方をこの総合計画に入れていく。

総合計画の基本計画に記載している現況・課題などについて見直しを行う。



実行できるか、マニフェスト

総合計画では、主な取り組みとして具体的な事業を掲載しているが、年度別の事業計画は掲載していない。各課の課長などとの話し合いが必要と考えられる。

これから国の情勢が大きく変化するという想定も含め、合併時に示した財政計画との調整を図っていきたい。公約なので基本的に4年間で実現する。

掲載できなかった質問

- 齋藤 君夫
  - 自殺を防ぐ対策について
  - 田んぼダム化の普及について
  - 小林 清悟
    - 中学校卒業まで医療費無料化について
    - 各種がん検診は全て無料について
    - 温泉施設は民間経営を基本にし新工生活を基本に新しい発想で実現について
    - 上野 幸美
      - 子育て応援日本一について
      - 受益者負担について
- 工藤 範子
  - 国民健康保険法第44条について
  - 鉛製給水管敷設替促進事業について
  - 裁量世帯について
  - 農業の周年化について
- 佐藤 彰
  - ハザードマップについて
  - 育英資金について
  - 子育て支援センターについて
- 村上 順一
  - 合併後4年間の公約の総括について
  - 新たな4年間のまちづくりについて
- 小野 一晴
  - 駅前倉庫の利活用について
- 小松 貞達
  - 知的障害者の自立支援について
- 池田 勝彦
  - 1について
- 富樫 透
  - 交通安全について
  - 臭害対策について
- 齋藤 健一
  - 地元産材の活用について
  - 良質材の確保策について

緊急の知らせ

議会報告会

初開催



議長 梅木 隆

今年度より広く町民の皆さんへ議会活動状況について報告する機会として議会報告会を開催いたします。

町民の議会に対する意見、町政に対する提言等を聴き、行政改革に反映させるとともにより町民に開かれた議会を目指してまいります。

なお、私を除く議員全員を3班編成としそれぞれの公民館単位で開催いたします。どの会場も概ね2時間程度で参加自由です。多くの皆さんの参加をお待ちしております。

平成21年度決算の説明に使用しますので、この「こんにちは庄内町議会」9月号をご持参ください。

第一班



立谷沢公民館  
10月26日  
6時30分

余目第一公民館  
10月27日  
6時30分

清川公民館  
10月28日  
6時30分

第二班



余目第三公民館  
10月27日  
6時30分

狩川公民館  
10月30日  
6時30分

第三班



余目第二公民館  
10月26日  
6時30分

余目第四公民館  
10月27日  
6時30分